

Russell/Nomura 日本株インデックス パフォーマンス・レビュー

07年7月は、市場全体は下落したが、小型株、グロース株というスタイルの有効性は変わらず

Russell/Nomura Prime 指数（米ドル建て）は前月末より 0.25% 下落した。小型株、グロース株が有効なスタイルであった。リビジョン・インデックスは、引き続きマイナス水準で-8.56 となっている。

- 【スタイルの有効性は前月と変わらない】2007年7月のRussell/Nomura Prime 指数（米ドル建て）では、前月比 0.25% の下落となった。スタイル別では、引き続き、小型株、グロース株が有効であった。
- 【リビジョン・インデックスは-8.56】個別銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスは、-8.56 となった。前月に引き続き上方修正の銘柄数が下方修正の銘柄数を下回る結果となり、2007年3月より、マイナス傾向が続いている。
- 【その他製品のパフォーマンスが良好】Russell/Nomura Prime 指数における業種別ではその他製品、次いで海運業が高い月次リターンを示した。
- 【任天堂など（7974）などの寄与度が高い】Russell/Nomura Prime 指数構成銘柄で見た寄与度ランキングでは、任天堂（7974）が寄与度で最上位となった。一方、マイナス寄与度が高かったのは、前月上位だったトヨタ自動車（7203）であった。

スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41
3	割安 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23
順位	200704	200705	200706	200707	投資スタイルと対応指数							
1	成長 -0.13	コア 5.163	小型 2.123	小型 -3.58	市場	Russell/Nomura Prime						
2	市場 -0.67	成長 4.056	成長 1.464	成長 -3.65	コア	Russell/Nomura Top Cap						
3	コア -0.94	市場 3.252	市場 1.192	市場 -3.87	割安	Russell/Nomura Large Cap Value						
4	小型 -0.97	割安 3.249	割安 0.724	コア -4.10	成長	Russell/Nomura Large Cap Growth						
5	割安 -1.25	小型 -0.04	コア 0.648	割安 -4.15	小型	Russell/Nomura Small Cap						

(注) リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

2007年8月2日
クオンツレポート

カテゴリー

インデックス・リサーチ

野村証券
金融工学研究センター

石毛 洋子

田村 浩道

03-3274-1079

arai-1ms4@jp.nomura.com

野村証券株式会社 金融工学研究センター 〒100-8130 東京都千代田区大手町2-2-2 アーバンネット大手町ビル

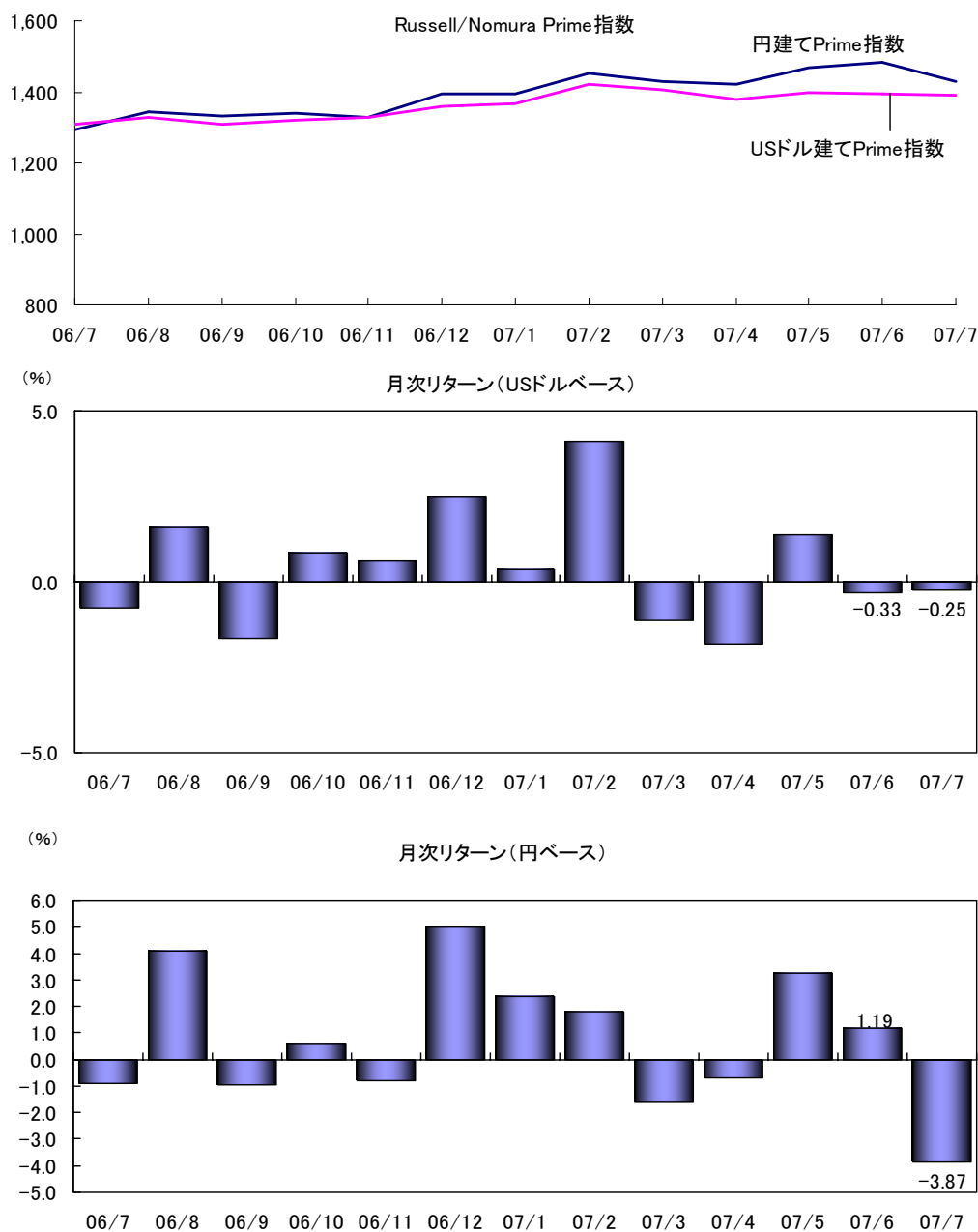
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

1. Russell/Nomura 日本株インデックスパフォーマンス概況

07年7月のPrime指数(米ドル建て)は、引き続き小幅下落

2007年7月は、日本株式市場の動きを示す Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)が前月比 0.25%の下落となった。6月末時点と同様、引き続き小幅下落となった。7月末時点の為替レート(月末終値、出所:日本銀行)は、5月末時点の 123.48 円から 118.99 円となった。円建てベースでは、前月比 3.87%の下落となった(図表1)。

図表1 Russell/Nomura Prime 指数月次パフォーマンス



(注) リターンは配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

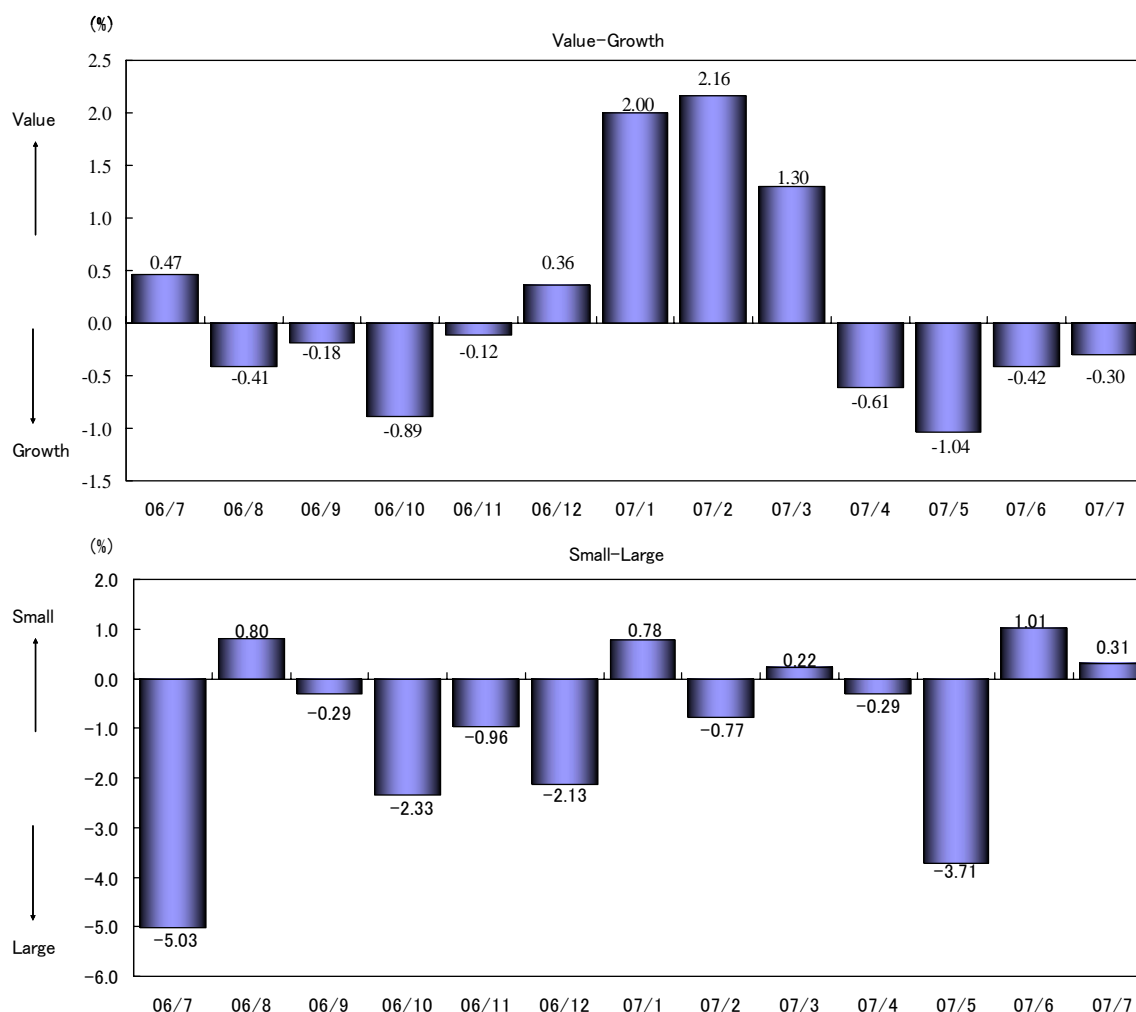
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

**市場全体は下落したが、
スタイル別の優位性は
前月と変わらず**

図表 2 に、スタイル別のリターン・スプレッドを示している。また、図表 3 は、市場、コア（時価総額上位 50%以上）、割安（大型・バリュース株）、成長（大型・グロース株）、小型といった 5 つのスタイル区分による月次リターンのランキングを表している。なお、ここでのパフォーマンスの算出には、円建てベースの数値を採用している。

2007 年 7 月のスタイルの有効性は、前月と同様な傾向を示した。市場全体が下落する中、相対的にみれば、引き続き小型株が最も良好なスタイルであった。小型株と大型株のスプレッド・リターンは 0.31% となっている。グロース株の有効性も引き続き見られた。バリュース株とグロース株では -0.30% のスプレッド・リターンで、前月のスプレッド水準からあまり大きく変化していない。

図表 2 スタイル別パフォーマンス



(注) Value-Growth は Value と Growth のリターンの差、Small-Large は Small と Large のリターンの差である。

リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします

図表3 スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23
順位	200704	200705	200706	200707		投資スタイルと対応指数						
1	成長 -0.13	コア 5.163	小型 2.123	小型 -3.58		市場	Russell/Nomura Prime					
2	市場 -0.67	成長 4.056	成長 1.464	成長 -3.65		コア	Russell/Nomura Top Cap					
3	コア -0.94	市場 3.252	市場 1.192	市場 -3.87		割安	Russell/Nomura Large Cap Value					
4	小型 -0.97	割安 3.249	割安 0.724	コア -4.10		成長	Russell/Nomura Large Cap Growth					
5	割安 -1.25	小型 -0.04	コア 0.646	割安 -4.15		小型	Russell/Nomura Small Cap					

(注) 単位は%。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

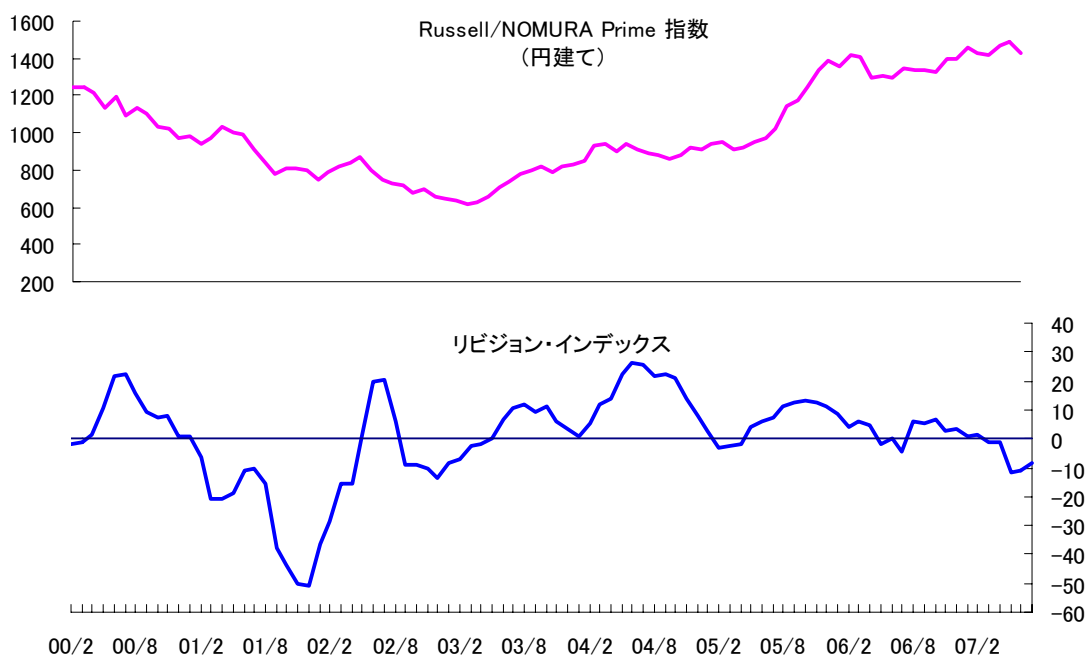
(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

リビジョン・インデックスは-8.56と、07年3月より、マイナス傾向が続いた

Russell/Nomura 日本株インデックスを構成する銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスを見ると（図表4）、2007年7月は、引き続きマイナス水準で-8.56となった。上方修正銘柄数が547銘柄、下方修正銘柄数が681銘柄となり、上方修正の銘柄数が下方修正銘柄数を下回った。リビジョン・インデックスのマイナス傾向は、2007年3月以来、継続して見られている。

図表4 リビジョン・インデックスとパフォーマンス



	リビジョン インデックス	上方修正 銘柄数	下方修正 銘柄数
2007年07月	-8.56	547	681
2007年06月	-11.26	601	781

(注) リビジョン・インデックスとは、 $(\text{上方修正銘柄数} - \text{下方修正銘柄数}) / \text{有効銘柄数} \times 100$ で算出される業績の修正動向を示す指数である。2007年7月の有効銘柄数は1,565銘柄。業績予想は野村及び東洋経済が予想する連結・経常利益を用いている。ここでは、母集団を Russell/Nomura 日本株に含まれる全銘柄とし、月次の業績修正に基づいて算出している。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

2. 業種別パフォーマンス・レビュー

その他製品、海運業の
月次リターンが大きい

2007年7月は、Prime 指数において、その他製品や海運業が良好なパフォーマンスを見せた。一方、電気・ガス業、水産・農林業などでは、パフォーマンスの悪化が見られた（図表5）。

図表 5. Russell/Nomura 業種別パフォーマンス(上位・下位 10 業種)

指数	Prime	-3.87	Large Value	-4.15	Large Growth	-3.65	Small	-3.58
上位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 その他製品	14.34	卸売業	9.26	その他製品	27.31	海運業	19.45
	2 海運業	10.01	海運業	7.59	海運業	11.82	石油・石炭製品	7.53
	3 卸売業	7.08	非鉄金属	7.21	鉱業	4.35	ガラス・土石製品	2.93
	4 非鉄金属	3.70	鉄鋼	2.74	繊維製品	3.21	鉄鋼	1.38
	5 鉱業	3.22	ガラス・土石製品	1.29	卸売業	2.56	輸送用機器	0.36
	6 鉄鋼	1.78	機械	0.97	非鉄金属	1.73	機械	-0.31
	7 機械	0.90	精密機器	-0.46	機械	1.38	電気機器	-1.23
	8 精密機器	0.49	化学	-1.10	精密機器	1.32	化学	-1.24
	9 ガラス・土石製品	0.36	医薬品	-2.22	鉄鋼	0.62	陸運業	-1.35
	10 化学	-0.71	石油・石炭製品	-2.79	化学	-0.23	非鉄金属	-2.33
下位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 電気・ガス業	-12.24	電気・ガス業	-12.35	電気・ガス業	-11.43	水産・農林業	-11.84
	2 水産・農林業	-12.13	金属製品	-10.77	その他金融業	-11.23	保険業	-9.90
	3 その他金融業	-10.20	その他金融業	-9.85	小売業	-11.21	証券・商品先物取引業	-8.82
	4 不動産業	-9.45	サービス業	-9.50	情報・通信業	-10.03	その他金融業	-8.64
	5 情報・通信業	-8.86	情報・通信業	-8.73	不動産業	-9.80	不動産業	-8.07
	6 小売業	-8.32	保険業	-8.05	陸運業	-6.89	金属製品	-6.73
	7 保険業	-7.88	倉庫・運輸関連業	-8.04	サービス業	-6.69	電気・ガス業	-6.68
	8 金属製品	-7.00	食料品	-7.81	保険業	-6.12	食料品	-6.48
	9 サービス業	-6.91	小売業	-7.32	輸送用機器	-6.05	その他製品	-5.94
	10 倉庫・運輸関連業	-6.90	電気機器	-6.88	銀行業	-5.28	銀行業	-5.79

(注) 単位は (%)。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

3. 個別銘柄パフォーマンス・レビュー

寄与度上位は、任天堂 (7974)

ここでは、個別銘柄の各指数へのパフォーマンス寄与度をランキングし、その結果に基づき、上位・下位 5 社を示している (図表 6)。なお、月次リターンは、円建てベースで示した。

Russell/Nomura Prime 指数を構成する銘柄のうち、任天堂 (7974) の寄与度が高く、0.337%となっている。同銘柄の月次リターンは、29.05%と高いものとなっている。一方、マイナスの寄与度が大きかったのは、前月、寄与度で上位であったトヨタ自動車 (7203) であり、0.317%のマイナス寄与となった。次いで、マイナス寄与が大きかったのは、キャノン (7751) で 0.293%のマイナス寄与となった。

図表 6 個別銘柄パフォーマンス寄与度上位・下位 5 社

		Prime:-3.87%				Top:-4.1%			
		寄与度(%)		リターン(%)		寄与度(%)		リターン(%)	
上位銘柄	1	7974	任天堂	0.337	29.05	7974	任天堂	0.638	29.05
	2	8031	三井物産	0.133	14.46	8031	三井物産	0.252	14.46
	3	8058	三菱商事	0.099	9.60	8058	三菱商事	0.187	9.60
	4	5411	ジェイ エフ イー ホールディングス	0.075	7.04	5411	ジェイ エフ イー ホー	0.142	7.04
	5	6503	三菱電機	0.055	11.12	6503	三菱電機	0.104	11.12
下位銘柄	1	7203	トヨタ自動車	-0.317	-7.69	7203	トヨタ自動車	-0.601	-7.69
	2	7751	キャノン	-0.293	-13.28	7751	キャノン	-0.555	-13.28
	3	9501	東京電力	-0.226	-19.95	9501	東京電力	-0.427	-19.95
	4	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.191	-6.62	8306	三菱UFJフィナンシャル	-0.361	-6.62
	5	6752	松下電器産業	-0.142	-11.04	6752	松下電器産業	-0.268	-11.04

		Large-V:-4.15%				Large-G:-3.65%				Small:-3.58%			
		寄与度(%)		リターン(%)		寄与度(%)		リターン(%)		寄与度(%)		リターン(%)	
上位銘柄	1	8031	三井物産	0.314	14.46	7974	任天堂	0.734	29.05	9132	第一中央汽船	0.056	51.03
	2	8058	三菱商事	0.232	9.60	6503	三菱電機	0.120	11.12	5444	大和工業	0.052	16.36
	3	8002	丸紅	0.115	13.60	6301	小松製作所	0.107	6.15	6457	グローリー	0.049	18.15
	4	7011	三菱重工業	0.092	6.57	5411	ジェイ エフ イー ホー	0.090	7.04	5301	東海カーボン	0.045	13.25
	5	5401	新日本製鐵	0.080	3.69	9104	商船三井	0.076	11.95	6222	島精機製作所	0.045	24.40
下位銘柄	1	9501	東京電力	-0.532	-19.95	7751	キャノン	-0.638	-13.28	6948	住友電装	-0.059	-100.00
	2	6752	松下電器産業	-0.334	-11.04	7203	トヨタ自動車	-0.626	-7.69	6707	サンケン電気	-0.055	-24.10
	3	9437	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	-0.187	-15.38	8306	三菱UFJフィナンシャル	-0.272	-6.62	1332	日本水産	-0.047	-15.08
	4	9432	日本電信電話	-0.169	-5.85	8316	三井住友フィナンシャル	-0.190	-6.09	5943	ノーリツ	-0.039	-27.34
	5	6971	京セラ	-0.159	-12.48	8591	オリックス	-0.189	-11.34	9841	BMB	-0.038	-100.00

(注) リターンは円建て・配当込みのものである。

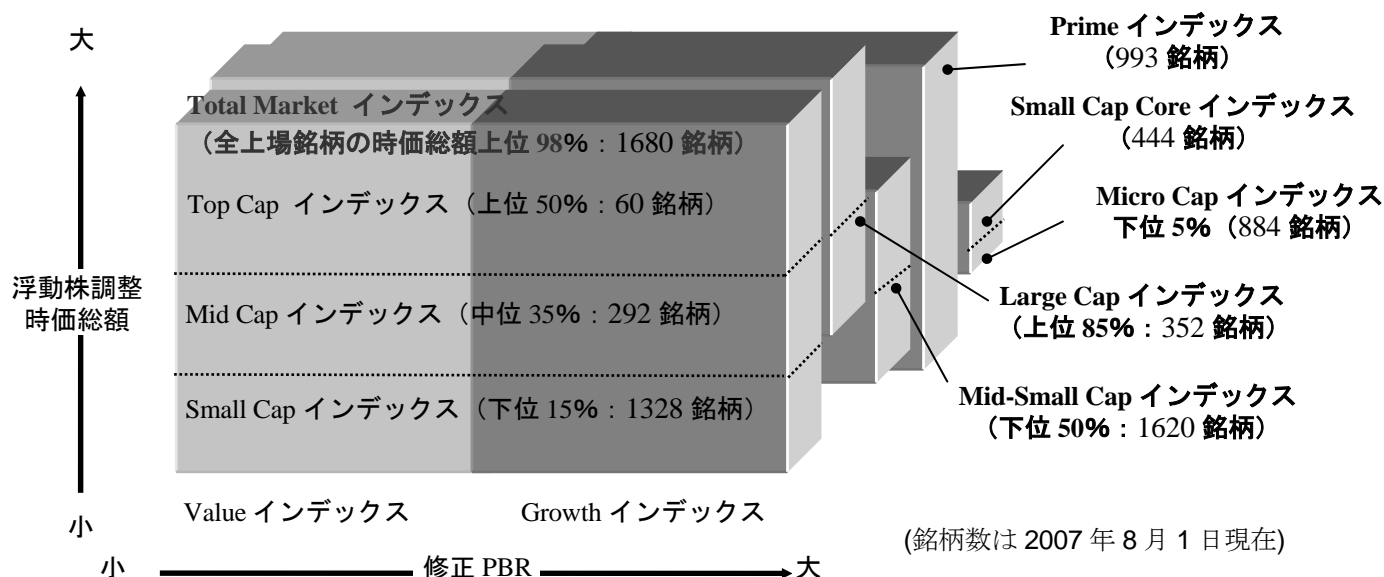
(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q&A Russell/Nomura 日本株インデックスについて

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスって何ですか？

A: Russell/Nomura 日本株インデックスは米国、フランクラッセルカンパニーと野村証券金融工学研究センターが共同開発した日本株式投資スタイルベンチマークです。



この他に 33 業種別インデックス (Total Market、規模別、Value、Growth、Prime) も用意されています。なお、規模別インデックスの分類指標は、安定持ち株控除後の時価総額です。Value/Growth インデックスの分類指標は、自己資本の含みを修正した修正 PBR です。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのルールブックはどこにありますか？

A: http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN_rule200707.pdf
をご覧ください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータを見たいのですが、どこで公表していますか？

A: 以下の情報端末でご覧いただけます。

Bloomberg	: RNJI
時事通信	: SQ21、SQ22、SQ23、SQ24
QUICK	: NRIJ500~504、510~517
REUTERS	: FRCNRI01、FRCNRI02、FRCNRI03、FRCNRI04
INTERNET	: http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html

なお、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からは、最新のインデックスリターン、構成銘柄、構成銘柄の変更などがご覧いただけます。

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータが欲しいのですが？

A: インデックスリターン、インデックス個別銘柄時価総額ウェイト、個別銘柄情報については、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からダウンロードできます。QUICK、REUTERS、Bloomberg においても一部に限られますが、データを取得できます。それ以外に関しましては、下記の連絡先にお問い合わせください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスについて英語の資料が欲しいのですが？

A: <http://qr.nomura.co.jp/en/frcnri/index.html> をご覧ください。

上記以外の Russell/Nomura 日本株インデックスに関するお問い合わせ先

徳野 明洋・平野 由美子：idx_mgr@frc.nomura.co.jp

電 話：03(3274)0924

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。